



発行 No. 第134号
 発行日 令和元年9月13日
 発行人 川浪 廣次
 発行所 公益社団法人 福島市
 シルバー人材センター
 福島市東浜町11-40
 電話(024)531-2511



**令和元年度定時総会開催
 ～理事長交代で新たな出発～**

令和元年度定時総会が6月13日(木)とうほう・みんなの文化センターで、会員798名(委任状、議決権行使書を含む)が出席し開催されました。はじめに、市川國雄理事長の挨拶があり、来賓の福島市長、ハローワーク福島所長からご祝辞をいただきました。次に小野秀夫さんを議長に選出し、提出した議案の審議が行われ、各議案について原案どおり承認されました。

〈平成30年度事業報告・収支決算報告〉

請負・委任契約の受注件数と契約金額は減少しましたが、派遣契約では増加しており、総合的にはほぼ横ばいの実績でした。会員数は、退会者が入会者を上回り、会員数は減少となりました。

〈理事及び監事の選任〉

任期満了に伴い、市川國雄理事長、薄井 浩理事、尾形幸吉理事、橋本佳子理事が退任され、片平 正さん、柳田節子さんが新たに理事に選任さ

れました。退任された4名以外は再任され、定時総会後の臨時理事会において、理事長に川浪廣次さん、副理事長に小林喜雄さん、常務理事に事務局長の齋 一昭さんが選定されました。

〈令和元年度事業計画・収支予算〉

地域に根ざしたセンターとして更なる普及を図り、新たな就業機会の開拓、会員の増強に力を入れていきたい。そのためには会員皆さまの協力が不可欠で、引き続き「1会員新規会員1名確保運動」を展開し、功績が顕著な会員の表彰を行います。今年度の表彰については5ページをご覧ください。



福島市長 木幡 浩 様



ハローワーク福島
 所長 渡邊 則夫 様

新旧理事長のあいさつ



新理事長
川浪 廣次

令和元年度定時総会時において、理事長に選任され就任いたしました。

元号が変わって新しい時代を迎えた今年、当センターは、創立40周年の記念の年でもあります。信頼と実績の40年の歴史を刻んでこられた歴代理事長はじめ会員、役職員の皆さんに改めて敬意を表します。

働き方改革等でセンターは大きな変革を迎えています。基本理念である「自主・自立」「共働・共助」をもとに、永年培ってきた会員の皆さんの豊富な知識・経験・技能を活かし、「生涯現役」として、働き続けることができる事業推進に努め、会員の皆さんが健康で生きがいのある生活実現と地域の皆様に信頼され愛され、そして、会員の皆さんが会員でよかったと言える魅力あるセンターをめざして参りますので、皆さんのご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



前理事長
市川 國雄

平成29年に前任の鈴木常夫理事長から理事長の任を引き継ぎ、わずか1期2年間でしたが、大過なく職責を果たすことができました。これもひとえに、会員の皆様はじめ、役職員の温かいご支援とご協力の賜物と、心から深く感謝申し上げます。

いまシルバー人材センターは、定年延長等の働き方改革により、会員増強や就業開拓が非常に困難な状況に陥っています。どうか、川浪新理事長のもと、会員の皆様と役職員が一体となり、地域社会の期待に応える魅力のあるセンターを築いていただきたいと願っております。

微力ではありますが、私も今後は一会員として就業はもとより、センター事業の発展に寄与して参りたいと存じます。

結びに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、退任のあいさつといたします。

新役員体制



理事長
川浪 廣次



副理事長
小林 喜雄
(就業開拓委員長)



常務理事
兼事務局長
斎 一昭
(総務・広報・就業開拓委員)



理事
尾形 敏子
(総務副委員長)



理事
小澤 和枝
(広報委員長)



理事
早坂 一子
(総務委員長)



理事
吾妻 雄二
(広報副委員長)



理事
高橋 文男
(就業開拓副委員長)



理事
伊藤 賢之
(就業開拓委員)



理事
山内 芳夫
(広報委員)



理事
丹治 仁志
(就業開拓委員)



理事(新任)
片平 正
(総務委員)



理事(新任)
柳田 節子
(総務委員)



監事
安達 正紀



監事
國井 輝夫

<退任された理事>

市川 國雄 様 薄井 浩 様
尾形 幸吉 様 橋本 佳子 様
当センターの発展のためにご尽力くださり、ありがとうございます。

事故ゼロを目指して!～安全就業現場パトロールを実施～

理事及び地区委員による「安全就業推進会議」が6月19日(水)に開催され、委員長に小林喜雄副理事長、副委員長に早坂一子理事と小野秀夫地区委員(蓬莱地区)が選出されました。

安全就業推進会議では職種別としている安全就業点検表の見直しを図り、安全就業巡回指導を、事故が多い除草、庭木の手入れ作業の現場を中心に、6月下旬から7月下旬にかけて全7ヶ所で実施しました。安全には十分留意して就業していると思いますが、残念ながら7月に発生した賠償事故は5件であり、前年度同月と比較して2倍以上の増加となっております。その5件全てが草刈機の飛石等によるガラス破損、草刈刃接触による破損の事故でした。また、今年は台風の影響もあり7月末から8月中旬にかけて長期間猛暑となったことも要因となり、熱中症での体調不良も2件発生しました。事故を発生させないためには、会員の皆さん、一人ひとりが安全は自分の問題として取り組む、すなわち、「安全・健康＝自己管理」という意識を持つことが最も大切です。

“安全は全てに優先する”を合言葉に、慢心せず、手間を惜しむことなく、会員・委員等(役職員)が一体となって、安全就業と健康管理に努めてまいりましょう。



安全・適正就業推進大会

福島県シルバー人材センター連合会の令和元年度安全・適正就業推進大会が7月19日(金)とうほう・みんなの文化センターで行われ、当センターからは地元での開催を受け、安全就業推進会議委員他、総勢35名が参加しました。

第1部の式典では、県統一の新しい安全標語(スローガン)の表彰式が行われ、入選者4名が当センターの理事長でもある県シ連の川浪廣次会長から賞状を授与されました。最優秀賞作品に輝いた「安全は心のゆとりと笑顔から」が今年度から3年間、県内の統一安全標語となりますので、当センター並びに全国統一安全標語の3つの安全標語を掲げ、安全就業に努めてまいりましょう。第2部の研修では南東北福島病院の講師による「高齢期の食と栄養」や「健康維持体操」と題した健康管理について、予防・改善などに役立つリハビリ体操を参加者の実技を交えて、楽しみながら知識を深めてきました。また、安全就業推進会議委員等は、安全確保の着実な成果を期することが使命であることを再確認し、身を引き締める機会ともなりました。研修会で学んだ知識や情報を提供し、会員の皆さんの安全就業の取組みに対して、組織的に支援してまいります。



会員の「声」

このコーナーでは会員の皆さまの「声」をお届けしていきます。就業現場を訪問したり、趣味や特技をお聞きしたりと多くの会員の皆さまに登場していただく予定です。

就業現場訪問 ～サイクルスポーツ広場運営補助業務～

皆さんはあづま運動公園にある「サイクルスポーツ広場」をご存知ですか？ いろいろな変わった自転車に乗れるレジャー施設で、お孫さんを連れて訪れた方も多いのではないでしょうか。センターでは福島県都市公園・緑化協会様との派遣契約で、4名の会員さんが交代で就業しています。8月18日、子どもたちの夏休み最後の日曜日、さんさんと日差しが降り注ぐ中現場訪問をしました。この日はサービスデーという無料で自転車に乗れる日で、多くのお客さんがいました。佐藤慶子さん(写真左)と赤間広治さん(写真右)は汗を流しながらお客さんへの貸し出し業務をしていました。「とにかく楽しい！」と笑顔で応える佐藤さん。赤間さんは「ちょうどいい疲労で、夜はぐっすり熟睡できる」と満足そうでした。

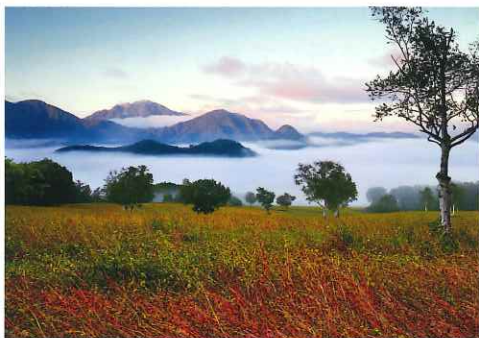


福島県シルバー人材センター連合会で制作中のシルバーPRビデオの撮影もあり、就業風景だけでなくインタビューも受けていました。完成したら入会説明会等で活用したいと思います。



私の趣味・特技 ～ 会員番号6184 笠原 壽一様 ～

笠原さんは平成25年に入会し、庭木班の一員として活躍中です。若い頃から写真に興味があり、本格的にコンクール等に応募し始めたのは現役を退いてから。今年もNHK「福島の桜フォトコンテスト」で知事賞を受賞するなど、多くの入選歴を誇ります。今までで一番嬉しかった賞は昨年受賞した国内最大級のアマチュア写真コンペ「富士フィルムフォトコンテスト」のネイチャーフォト部門でグランプリに次ぐ金賞を受賞したことで、東京での表彰式にも出席されたそうです。パソコンには多数の作品が管理されており、画面を見つめる笠原さんの目は若々しく輝いていました。



←会津高原たかつえスキー場近くで撮影した写真。赤く実ったそばの実と、その奥には雲海が幻想的に広がっています。(本文中の受賞作品ではありません)



ご自慢のカメラの数々

今後も多くの会員の皆さまの「声」をお届けしていきますので、「私の就業現場を見に来て！」という方や、ご自慢の趣味や特技をお持ちの方は、ぜひお気軽に事務局までご一報ください。自薦・他薦は問いません。お待ちしております！

事業レポート

地区委員・地区班長会議

4月3日 於：シルバー人材センター多目的ホール

12地区65班からなる会員組織を代表し、地区委員と地区班長が一堂に会し、センター運営の基本、運営体制、地区委員・地区班長の役割、会員名簿(個人情報)の取り扱い、令和元年度事業計画・収支予算について協議し、承認されました。



「1会員新規会員1名確保運動」表彰

6月13日 於：とうほう・みんなの文化センター

令和元年度「1会員新規会員1名確保運動」被表彰者は、2名の方を紹介していただいた以下の5名となりました。令和元年度臨時総会において、代表として加藤敏広様に表彰状を授与しました。今年度も「1会員新規会員1名確保運動」を事業目標に掲げ、会員増強に力を入れていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

公益社団法人福島市シルバー人材センター 定時総会



表彰された会員

瀬上 B班	佐藤 富雄 様
渡利 D1班	伊東志津枝 様
荒井 班	加藤 敏広 様
南沢 又班	立田 里子 様
飯坂 C1班	鍵山キミ子 様

毛筆班研修会

6月7日・8月20日 於：シルバー人材センター多目的ホール

毛筆班では技術の向上を図るため、研修会を重ねています。6月7日と8月20日に各10名が参加し、新元号「令和」の漢詩を用い楷書体と草書体の練習、賞状の名入れの連名、文字数によるバランスの練習をしました。次回は、年賀状の宛名書きの練習をする予定です。



その他の主な事業(4~8月)

- 4月 5日 庭木班全体会議
- 9日 入会説明会
- 10日 理事・監事選考委員会
- 12日 安全標語選考委員会/運営調整会議
- 17日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 5月 14日 入会説明会
- 15日 理事・監事選考委員会
- 17日 運営調整会議
- 22日 理事会/安全・適正化就業委員会
- 6月 11日 入会説明会
- 14日 運営調整会議
- 19日 理事会/安全・適正化就業委員会/安全就業推進会議
- 7月 9日 入会説明会/総務委員会
- 12日 運営調整会議
- 17日 理事会/安全・適正化就業委員会
就業開拓委員会、広報委員会
創立40周年記念事業実行委員会
- 30日 軽作業班長・副班長会議
- 8月 6日 入会説明会
- 7日 総務委員会
- 16日 運営調整会議
- 21日 理事会/安全・適正化就業委員会
創立40周年記念事業実行委員会 各部会

福島市シルバー人材センター安全標語「気をつけて! 仲間の一言 事故ふせぐ」

事務局からのお知らせ

創立40周年記念式典のご案内



創立40周年記念式典を下記のとおり開催いたします。会員皆様の参加をお待ちしています。

日時 令和元年10月23日(水) 15時より
場所 飯坂ホテル聚楽 (飯坂町字西滝ノ町27)

職能班班長・副班長のご案内

センターには現在6つの職能班があり、2年を任期に班長・副班長等を委嘱しております。今回は各班の班長・副班長をご案内します。

＜毛筆班＞在籍22名

班長：高野喜三 副班長：丹治豊三

＜襖・障子班＞在籍5名

班長：大橋朝春 副班長：吾妻雄二

＜庭木班＞在籍42名

統轄班長：菊地 博 統轄副班長：遠藤隆雄

・中央班 班長：佐藤仁男 副班長：金子 弘

・西部班 班長：菊地 博

副班長：佐藤哲夫 副班長：齋藤公男

・北部班 班長：遠藤隆雄

・南部班 班長：三品壮吉 副班長：高橋 充

・東部班 班長：玉根 慈

＜軽作業班＞在籍約200名

・中央班 班長：猪口圭吾、斎藤正紀

副班長：大橋信雄、林 八郎

・野田班 班長：外山 勉 副班長：橋本正二郎

・岡山班 班長：菅野富雄 副班長：安田嘉平

・渡利班 班長：佐藤和子

・飯坂班 班長：後藤清吉 副班長：菅野 勲

・蓬莱班 班長：小野秀夫

副班長：渡辺和好、渡辺哲弥、安間 治

・松川班 班長：菅野勝治 副班長：安田武男

＜サイクルパトロール班＞在籍27名

班長：渡邊文夫 副班長：安達俊秀

＜レンタサイクル班＞在籍20名

班長：鈴木慶一 副班長：西戸恒夫 (以上敬称略)

第39回福島市シルバーまつりのご案内

今年もシルバーまつりを下記のとおり開催いたします。ご来場及び出店等の参加をお願いいたします。

日時 令和元年11月16日(土) 10時～15時
場所 アオウゼ(MAX4階) 曾根田町1-18
内容 会員手作り作品の即売演・体験、就業相談等

配分金支払日

8月分▶9月30日(月) 9月分▶10月31日(木)

10月分▶11月29日(金) 11月分▶12月27日(金)

※入金確認ができるのは午後2時頃になります。

下半期入会説明会

(毎月第2火曜日 13時30分から※2月のみ水曜日)

10月8日、11月12日、12月10日

1月14日、2月12日、3月10日

訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

菅野 正 様 (83歳) 野田 A

小島一雄 様 (70歳) 渡利 B

編集後記

今年度の広報委員会は2名のメンバーの入れ替えがあり、新たなスタートを切りました。

さて、去る7月19日に開催された安全・適正就業推進大会では、健康長寿新ガイドラインが示され、体がストレスで弱くなっている状態の「フレイル」と通常の低下以上に筋力が低下してしまう状態の「サルコペニア」について学びました。その予防としては「フレイル」は社会的なつながりを持てる環境を作り、生きがいややりがいを持って生きること。「サルコペニア」については良質なたんぱく質を摂取し、筋肉量を保つことなどが重要とのこと。まさに予防は、就業に励んでおられる会員皆様の日々の暮らしそのものだと感じました。これらのことを知識として活かしながら、生涯現役を目指しましょう。(小澤)